
若葉区里山サイクリング便り

わかば33カ所巡り～第十四回 12月の紅葉ツアー～

金親町、野呂町、御殿町、富田町、谷当町などの紅葉巡り

2014/12/11

初冬の温かな日（12月3日）に里山巡りを行いました。特に印象に残ったところは、大宮神社（金親町）の小路と「谷当工房」（谷当町）の紅葉です。金光院（金親町）、泉自然公園（野呂町）、原田池（富田町）でも、最後の紅葉が見られました。

今回は、千葉市が進めている「千葉市まちづくり未来研究所」（「市民シンクタンクモデル事業」）の「自転車によるまちづくり」の研究メンバーを里山サイクリングのフィールドに案内して回り、沢山の写真を提供していただきました。

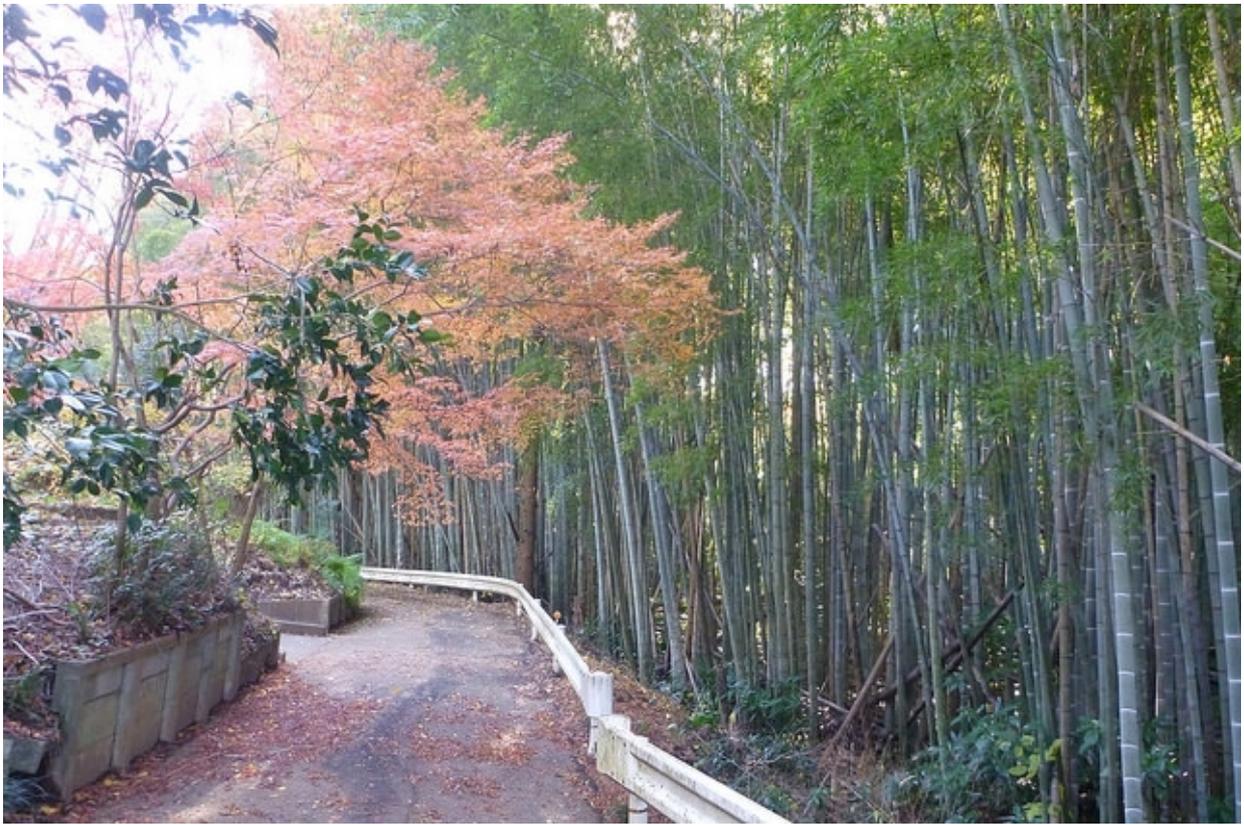
【ルートの概要】

千城台～大宮神社～長屋門～金光院～御茶屋御殿跡～泉自然公園～農政センター～原田池～谷当工房～川村美術館～おぐらの森～千城台

道案内

各写真の下に簡単な道案内が記されています。

今回のサイクリングルートは、「若葉ルート」をベースに、寄り途を加えてアレンジしたルートになっています。「若葉ルート」は、「Vol. 10 『千葉とっておき2013』にサイクリングルート登場」でご紹介させていただいておりますので、今回は、詳しい道案内は、省略させていただきましたが、きれいな写真を多数載せましたので、どうぞご覧ください。



大宮神社（金親町）の前の小路。紅葉と青竹、風情があります。





長屋門（金親町） 大宮神社の境内を通り抜けて御成街道にでると目の前にあります。



金光院(金親町) 山門は御成御殿の裏門だったそうです。



金光院(金親町)の鐘楼の紅葉、もう終わる寸前でした。



手前は御成街道、その向うに見えるのは、県道53号線。御成街道を少し行くと御茶屋御殿跡があります。



御茶屋御殿跡。右の土手は土塁で、その後ろには堀があります。



「わかばスポーツゾーン」を通り抜け、更科町、中田町を経て野呂町にある泉自然公園へ。



泉自然公園に着くと、まずサイクルラックに自転車を架けます。



泉自然公園（野呂町） 管理事務所の前には鮮やかな紅葉がありました。



泉自然公園（野呂町）の外周にあるサイクリングコースを走って池のところへ。紅葉は完全に終わってました。泉自然公園から、農政センターへ向かいました。



農政センターの奥にある「園芸協会」の産地直売所（古泉町）。12月7日の「千葉在来そば祭」の案内に見入っています。



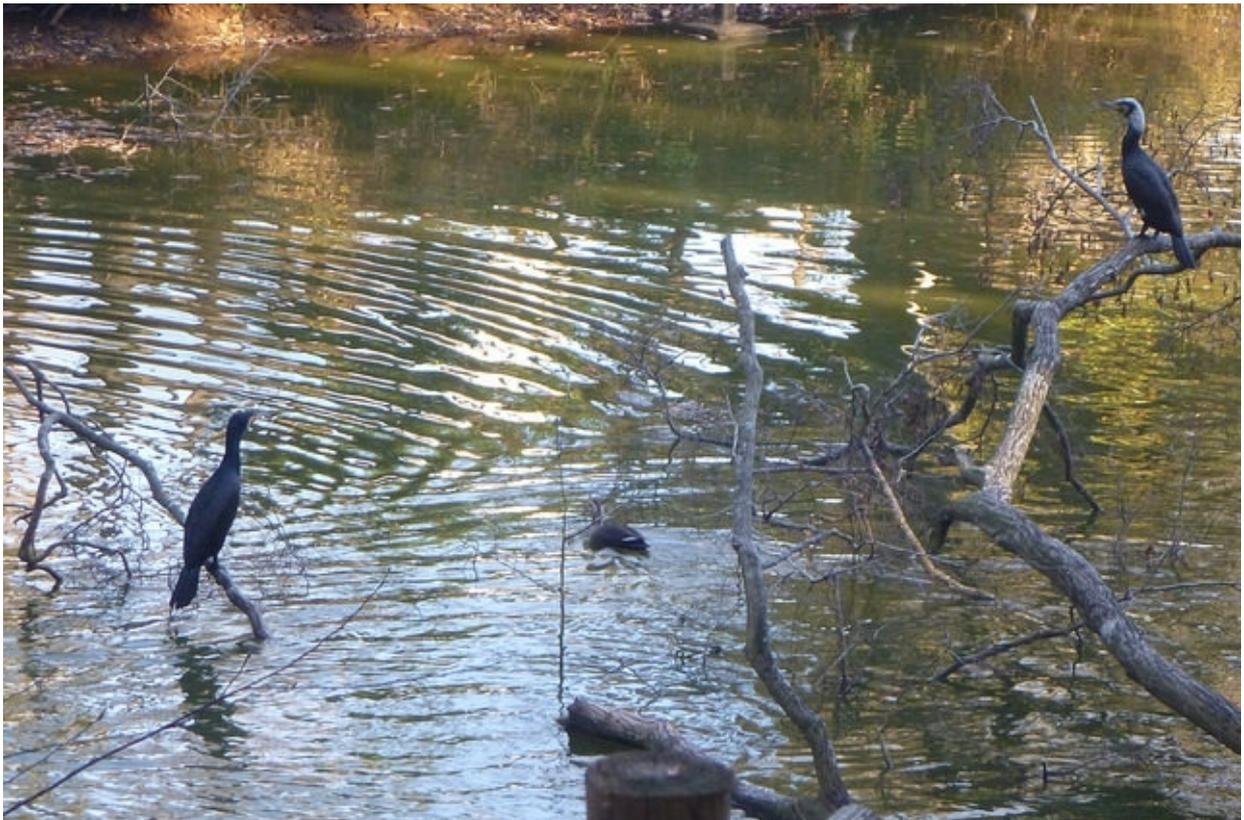
千葉酪農農業協同組合の「おなりミルク工房」のこだわりアイスクリーム。ここの売店でパンと牛乳を買って昼食。



千葉市乳牛育成牧場の脇の道を通って原田池へ向かいました。



富田都市農業交流センターに着いて、サイクルラックに自転車を架けました。この先は徒歩で池の周囲を散策。



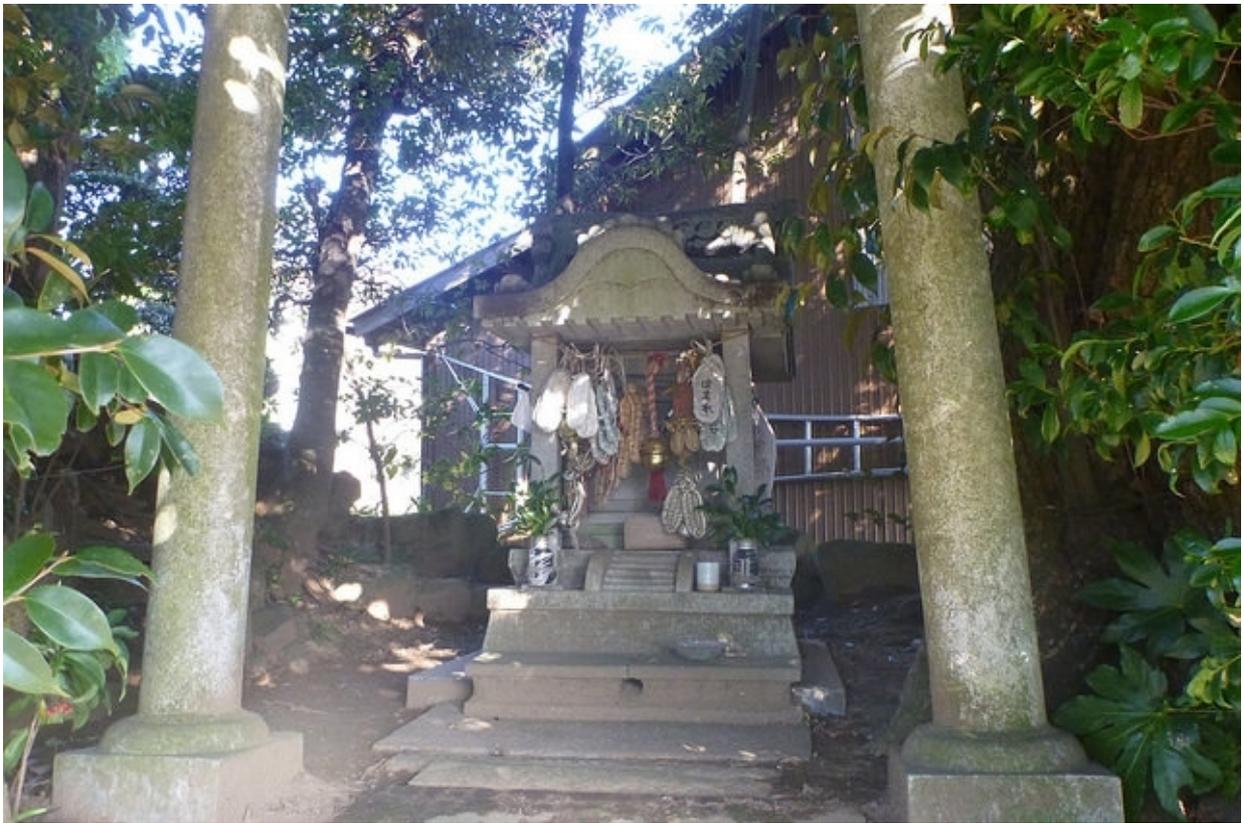
原田池（富田町） 池にはいろいろな野鳥が。



原田池（富田町） 日陰に紅葉がありました。日差しがあれば、鮮やかに見えたかもしれません。



富田谷津（富田町） 曲がりくねった田んぼの縁の道がどこまでも続きます。快適ですが、単調に感じて、林道を上ってゆきました。



道祖神（上泉町） 道の角にあるのですが、木立の中に埋もれる感じなので、気をつけないと通り過ぎてしまいます。



淡島神社（下泉町） 石の鳥居、奥の石灯籠など、新しい感じです。今じんまりした境内は維持管理が行き届いています。この後、大井戸町、下田町を通過して、谷当町へ向かいます。



谷当工房（谷当町） 金親さん手作りのサイクルラック。



谷当工房（谷当町） この紅葉の色合いはゴージャスです！ 金親さんの話では、カメラマンが写真を撮りに来るとか。この後、川村記念DIC美術館（佐倉市坂戸）へ向かった。



川村記念DIC美術館（佐倉市坂戸） ここには観光協会が設置したミノウラ製のサイクルラックがありました。これまで見て来たのはいずれも単管パイプを組み合わせた手作りのもの。



川村記念DIC美術館（佐倉市坂戸） 庭園にはジュウガツザクラが咲いていました。



次に目指すのは、佐倉市から四街道市を経て、千葉市の「おぐらの森」。途中、田んぼの縁の道を行く。



谷津田の田んぼは休耕田となり、すっかりススキの原になっています。



千葉市指定の里山地区「おぐらの森」 この森は、草刈りをしてきれいに手入れされているのに、まったく利用されていないのもつたいないですね。

今回のサイクリングは、以上でした。この後、千城台駅へ。お疲れ様でした。